

新編現代の国語	単位数	2単位	学科・学年・学級	機械科1年1組、自動車科1年2組、電気科1年3組・4組、グラフィックアーツ科1年5組、服飾デザイン科1年6組
---------	-----	-----	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国 701)
副教材など	「新編現代の国語 学習課題ノート」(準拠ノート) / その他, Dマークコンテンツ(教科書), 指導用DVD-ROM収録の補助資料など

## ◆年間指導計画

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	学習活動	評価規準
■ 1学期				
1 自己を見つめる(4月)				
読む こそそめスープ P 6 1時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア, イ	・筆者独自の考え方を読み取り, 人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	<第1時> 1 筆者の思いの変化に注意しながら, 本文を通読する。(手引き1) 2 第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。(手引き2) 3 「こそそめスープのある世界」は, 筆者にとってどのようなものであるかを理解する。(手引き3・4)	[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特

			<p>4 筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について理解する。(手引き 5)</p> <p>5 第三段から、筆者の人間に対する考え方を読み取る。(手引き 6)</p> <p>6 筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出し、「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。また、「本物のこそめスープ」とはどのようなものかを話し合う。(言語活動 1・2)</p>	<p>色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</li> <li>「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>読む ルリボシカミキリの青 P12 1時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア、ウ、エ、オ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。</li> </ul>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 本文を通読して、内容を把握する。(手引き 1)</p> <p>2 筆者の熱中したことを表現に即して捉え、理解する。(手引き 2)</p> <p>3 「そんな気持ち」の内容を捉え、「好きなことがあること」がなぜ大切なのかを理解し、筆者の主張を読み取る。(手引き 3・4)</p> <p>4 「センス・オブ・ワンダー」の意味から、筆者の「原点」について理解し、第三段の内容を捉える。(手引き 5)</p> <p>5 本文の内容を踏まえて、自分自身の興味や関心について考え、スピーチをする。(言語活動)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に</p>

				<p>的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p><b>【主】</b> 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとしている。</p>
<p>話す・聞く 気になるニュースについて話そう</p> <p>P18 5時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)イ <b>【思判表】</b> 話すこと・聞くこと(1)ア, イ ④話すこと・聞くこと(2)ア</p>	<p>・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2 実社会のニュースから伝えたい話題を決める。話題は、「課題」(P22)に示されているように、「好きなこと」「好きなもの」に関するものか、「最近気になること」に関するものを選ぶ。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b> 1 複数のメディアから話題についての情報を収集する。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b> 1 収集した情報を整理し、発表の構成を考えて発表メモを作る。「発表メモの例」を参考にして、事実と自分の意見を区別してまとめる。 2 「話し方のポイント」を参考に、発表の練習をする。</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b> 1 「班の中でニュースを伝え合う例」を参考に、司会などの役割を決め、班の中でニュースを伝え合う。 2 聞き手は「聞き方のポイント」を基に、メモを取りながら聞き、疑問点や詳しく知りたい点を質問して理解を深める。</p> <p><b>&lt;第5時&gt;</b> 1 同じ班の人から聞いたニュースを、別の班の人に伝える。 2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p><b>【知技】</b> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p><b>【思判表】</b> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p><b>【主】</b> 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。</p>

2 他者に出会う (5～6月)				
<p>読む 未来をつくる想像力 P24</p> <p>▼考えよう ……メディアとの付き合い方 P31 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア</p> <p>[知技] (2)エ [思判表] 読むこと(1)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と想像力の関係を論じた文章を読み, 意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。</li> <li>・さまざまなメディアの特長を知り, 受信者としても送信者としても適切な判断のもと, 使い分ける。</li> </ul>	<p>&lt;第1時&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を通読して, 内容を把握する。(手引き1)</li> <li>2 「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。(手引き2)</li> <li>3 「イメージの共有」がなぜ個人の単独性を失わせるのかを理解する。(手引き3)</li> <li>4 筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。(手引き4)</li> </ol> <p>&lt;第2時&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「空白の時間」をつくることの意義について理解する。(手引き5)</li> <li>2 本文の内容を踏まえて, 実際の生活やメディアの特長について考え, 話し合う。(言語活動) (考えよう……メディアとの付き合い方)</li> </ol>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に, 語句や語彙の構造や特色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>[主] 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し, 学習課題に沿って実際の生活を見直し, 情報社会における自己の在り方について考えを深め, 話し合おうとしている。</p>
<p>書く 集めた情報の内容を検</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を集めて検討し, 構成を工夫して</li> </ul>	<p>&lt;第1時&gt;</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文</li> </ul>

<p>討して意見文を書こう P44 8時間</p>	<p>[思判表] 書くこと(1)ア, イ ㊦ 書くこと(2)ア</p>	<p>意見文を書く。</p>	<p>1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持つ。 2 「課題」(P48)の中から一つを選び, 身近な社会生活や, 新聞・テレビのニュースなどから, 興味・関心のあることをメモに書き出し, テーマを決める。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b> 1 自分の決めたテーマに沿って, 自分の経験を振り返ったり, 人から話を聞いたり, 実際に現地を観察したりして, 関連する情報を集める。 2 「情報メモの例」を参考に, 集めた情報をメモにまとめる。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b> 1 集めた情報の内容について, 意見文に使えるものかどうか, 詳しく検討する。 2 情報をさまざまな角度から吟味したうえで, 意見文に使う情報を選択する。</p> <p><b>&lt;第4・5時&gt;</b> 1 「意見メモの例」を参考に, 選択した情報と自分の意見をメモにまとめる。 2 文章の構成を考え, 序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。</p> <p><b>&lt;第6・7時&gt;</b> 1 構成メモをもとに, 意見文を書く。「読みやすい文章表現のポイント」に留意して, 分かりやすい文章表現を心がける。 2 書いた文章を読み返して, 「推敲の観点」をもとに推敲をする。</p> <p><b>&lt;第8時&gt;</b> 1 推敲した文章を清書する。班の中で互いの意見文を読み合い, 文章構成や表現の仕方について意見交流を図る。</p>	<p>章の中で使っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において, 目的や意図に応じて, 実社会の中から適切な題材を決め, 集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して, 伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において, 読み手の理解が得られるよう, 論理の展開, 情報の分量や重要度を考えて, 文章の構成や展開を工夫している。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的にさまざまな課題に興味や関心を持ち, 選んだテーマに関連する情報を集め, 学習の見通しをもって情報の妥当性を吟味しながら, 自分の意見を明確にし, 意見文を書く活動をしている。</p>
-----------------------------------	---	----------------	--	---

			2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。		
読む 水の東西	P33	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	<第1時> 1 「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。(手引き1) 2 本文が、日本と西洋の具体例を挙げ、分かりやすい文章となっていることを理解し、対比を通して論じていることを押さえる。(評論の読み方) 3 「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。(手引き2-1) 4 「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。
■ 評論の読み方	P39	[知技] (1)ア, オ, カ/(2)ア [思判表] 読むこと(1)ア	・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。	<第2時> 1 日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」(日本人)と「噴水」(西洋人)の水に対する捉え方の違いを理解する。(手引き3-1) 2 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。(手引き2-2・3-2・4) 3 文章の内容を的確に捉えるために「やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう」を通読する。(やってみよう……文章の要旨をまとめてみよう)	[思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主] 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。
◆ やってみよう ……文章の要旨をまとめてみよう	P43 3時間	[知技] (1)ア, オ, カ/(2)イ [思判表] 読むこと(1)ア ④ 読むこと(2)ア	・要旨をまとめ、文章の要点を把握する。	<第3時> 4 日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。(言語活動)	
3 言葉と生活 1 (7月)					
話す・聞く		[知技] (1)イ, エ	・目的や相手に合っ	<第1時>	[知技]

<p>分かりやすい説明をしよう</p> <p>P50 5時間</p>	<p>[思判表] 話すこと・聞くこと(1)イ, ウ ⑤話すこと・聞くこと(2)イ</p>	<p>た分かりやすい説明をする。</p>	<p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 『夏休みをどのように過ごしたか』の説明」A・Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。</p> <p>2 「自分の学校の行事を説明する」という設定で、「説明内容を整理する手順」に従って、「リストアップ」「カテゴライズ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。</p> <p><b>&lt;第3時～4時&gt;</b></p> <p>1 整理した「自分の学校の行事」について、3人程度のグループに分かれてロールプレー(役割演技)を行う。「ロールプレーの仕方の例」を参考に交代で行い、聞き手役は相互評価表を書く。</p> <p>2 グループでの説明を振り返り、相互評価表などをもとに評価点、改善点などを話し合う。</p> <p><b>&lt;第5時&gt;</b></p> <p>1 「課題」(P54)の中から一つを選び、これまで学習した手順に従って、課題に即したロールプレーを行う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>[主] 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。</p>
<p>■ 2学期</p>				
<p>4 視野を広げる (9月)</p>				
<p>読む</p>	<p>[知技] (1)ア,</p>	<p>・身近な植物を観察</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p>	<p>[知技]</p>

<p>スキマが育む都市の緑と生命のつながり</p> <p>P68 1時間</p>	<p>ウ, エ, オ 【思判表】読むこと(1)ア, イ</p>	<p>してきた成果を述べる文章を読み, 提示された新しい視点について理解する。</p>	<p>1 接続語と段落構成に注目しながら, 本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 植物の生長の特性を捉え, 都市部においてスキマの植物が豊富な理由をまとめる。(手引き2)</p> <p>3 「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを, 生態系に果たす役割という観点を押さえながら読み取り, 整理する。(手引き3・4)</p> <p>4 「都市部の緑の在り方」についての筆者の主張を読み取り, まとめる。(手引き5・6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>【主】粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し, 学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>読む 無彩の色</p> <p>P78 2時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ, オ 【思判表】読むこと(1)ア ④読むこと(2)イ</p>	<p>・色について論じた文章を, 具体例の役割を押さえながら読み, 筆者の価値観と主張をつかむ。</p>	<p>&lt;第1時&gt;</p> <p>1 取り上げられている具体例を押さえながら, 本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 灰色に対する一般的なイメージと特性を把握して, まとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 白黒写真の具体例から, 灰色に対する筆者の評価とその理由を読み取る。(手引き4)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特</li> </ul>



			<p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>4筆者の主張を踏まえて、カラー写真と白黒写真を比較して気づいたことを話し合う。(言語活動)</p> <p>5筆者の主張する灰色についての日本文化の特色を、伝統色を確認しながら理解する。(手引き5)</p>	<p>色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p><b>[思判表]</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p><b>[主]</b> 進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>
5 社会と関わる (9～10月)				
<p>読む 鍋洗いの日々</p> <p>P94 2時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, ウ, エ, オ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1筆者の調理場での体験と必死の行動に注目し、その結果周囲がどのように変化したかを確認しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2筆者の「思わく」や培った経験からの自負と、筆者が勤めたホテルの調理場の現実や職場環境をまとめ、現実の厳しさを知った筆者の心情を理解する。(手引き2・3-1・3-2)</p> <p>3筆者の必死の行動とは何かを理解し、それによって先輩の料理人たちがどのように変化したかを読み取り、まとめる。(手引き3-3・4)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>4今までに調べたり、話を聞いたりしたことのある職業について、仕事の苦勞や喜びの体験談を発表する。(言語活動)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p><b>[思判表]</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p><b>[主]</b> 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。</p>

<p>読む 森で染める人</p> <p>P100 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア, イ</p>	<p>・自然や社会の中で 生きる意味を考え ながら働く筆者の 思いに触れ、働く ということについて 考える。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 筆者の仕事や生活の変化に着目しながら、全文を通読する。(手引き1) 2 山で暮らす筆者が、草木染めを通して感じた自然への思いを捉える。(手引き2)</p> <p>&lt;第2時&gt; 1 都会で暮らしていた筆者が覚えた違和感と、山での暮らしで得た実感を読み取る。(手引き3) 2 自然の循環の中で物を作ることへの筆者の思いを捉える。(手引き4) 3 筆者の思いを踏まえたうえで、仕事や生活に対する姿勢について、考えたことを発表する。(言語活動)</p>	<p>[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し、学習課題に沿って自然や社会での仕事や生活について自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>
<p>書く 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう</p> <p>P116 7時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ [思判表] 書く こと(1)ア, イ ④書くこと(2) ウ</p>	<p>・調べたことを整理 して、考えたことを 分かりやすくまと める。</p>	<p>&lt;第1時&gt; 1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2 「憧れの職業」について調べ、整理してまとめるまでの例を参考に、自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する。</p>	<p>[知技] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>[思判表]</p>

			<p>3 「課題」(P121)の中から一つを選び、興味のある対象(職業または国)をいくつか挙げ、インターネットや辞書、事典等で基本的な情報を調べる。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 集めた基本的な情報をもとに、自分の経験や個性も踏まえ、候補に挙げた対象について比較して選択肢を絞る。</p> <p>2 自分がその対象を選んだ理由などを書き出す。</p> <p><b>&lt;第3・4時&gt;</b></p> <p>1 選んだ対象について、実際に経験した人の話や、関係する書物など、詳しい情報を集める。</p> <p><b>&lt;第5・6時&gt;</b></p> <p>1 集めた情報を取捨選択し、読み手に自分の考えが伝わりやすくなるよう、書くための材料を決める。</p> <p>2 説得力のある文章になるよう構成を決め、大まかな字数の配分を考える。</p> <p>3 構成に沿って文章を書き、推敲をする。</p> <p><b>&lt;第7時&gt;</b></p> <p>1 推敲した文章を清書する。班の中で互いの文章を読み合い、文章の内容や構成について意見交流を図る。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p><b>[主]</b> 粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。</p>
6 言葉と生活 2 (11~12月)				
<p>話す・聞く 発想を広げる方法を使って話し合おう P124</p>	<p><b>[知技]</b> (2)イ <b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)ア, オ <b>(話)</b> 話すこと・聞くこと(2)ウ</p>	<p>・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 思考・発想を広げる方法について、「思考ツール・発想の方法」(P194)を参考にして確認する。更に、「ブレーンストーミング」と「カードによるグルーピング」</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理</p>

<p>◆考えよう ……相手に応じた言葉の 選び方</p> <p>P138 5時間</p>	<p>[知技] (1)イ [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)イ, ウ</p>	<p>・相手意識を持って 言葉を選ぶ。</p>	<p>を使った活動の例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P129)の中から一つを選び、思考・発想を広げる方法として何を使うかを定める。ただし、以下では「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使った発表活動を例として取り上げる。</p> <p>4 どのような題材について話し合うか、各自で題材案を考えたいえ、グループで検討し、題材を決める。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 前時で決めた題材についてブレインストーミングを行うために、「ブレインストーミングのルール」を確認し、『(1)出す・広げる』の例を参考に話し合いの具体的なイメージを持つ。</p> <p>2 思いつくまま題材についてのアイデアを出し合う。出されたアイデアは、その場で付箋に書き、台紙に貼っていく。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 前時に貼り付けた付箋について、類似性や共通項に注目し、「グルーピングの観点の例」などを参考に分類・整理する。</p> <p>2 グループ分けした付箋にタイトルを付け、「関係付ける視点の例」を参考に、相互の関係性が分かるように矢印などを書いて台紙に配置する。</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b></p> <p>3 グルーピングの結果を踏まえ、「発表の構成例」を参考に、五分程度のスピーチとしてまとめる。</p> <p><b>&lt;第5時&gt;</b></p> <p>1 各グループの話し合いの成果を発表し合い、クラス全体で共有する。グループでの話し合いのときと、クラスの前で発表するときなど、話す相手や場の状況に応じた言葉遣いの違いに注意する。(考えよう…</p>	<p>解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</p> <p><b>[主]</b> 進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げ、場に応じた言葉遣いをしようとしている。</p>
--	---	-----------------------------	---	--

			<p>…相手に応じた言葉の選び方)</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	
<p>書く 新聞記事を読んで意見 文を書こう</p> <p>P 130</p> <p>●グループで問い作りに 挑戦</p> <p>P 136 8 時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)オ [思判表] 書く こと(1)ウ ④書くこと(2) ア</p> <p>[知技] (1)ア, カ [思判表] 書く こと(1)ア</p>	<p>・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。</p> <p>・問いを作って絞り込み、書くための題材を見つける。</p>	<p>&lt;第 1 時&gt;</p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「ゲーム依存」について書かれた新聞記事を、「要点を押さえて新聞記事を読む」にある 5 つの観点を意識して通読する。</p> <p>3 見出しに注目して記事の内容を要約し、問題の本質を理解する。</p> <p>4 「ゲーム依存」の新聞記事を読んで意見文を書いた例を参考に、意見文の書き方を確認する。</p> <p>&lt;第 2・3 時&gt;</p> <p>1 「課題」(P135)の中から一つをテーマとして選ぶ。</p> <p>2 選んだテーマに関する新聞記事を探して読む。グループで共通の記事を選ぶとよい。</p> <p>3 選んだ記事について、見出しに注目して内容を要約し、問題の本質を理解する。</p> <p>&lt;第 4・5 時&gt;</p> <p>1 読み取ったことをもとに意見文の内容を考える。</p> <p>2 「グループで問い作りに挑戦」を読み、「QFT」のやり方を確認し、問い作りをする。(グループで問い作りに挑戦)</p> <p>3 問いに対する意見を考え、意見文に取り入れることを検討する。</p> <p>&lt;第 6・7 時&gt;</p> <p>1 構成を考えて意見文を書く。その際、記事の引用の仕方や出典の示し方に注意する。</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>[主] 積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。</p>

			<p>2 書いた文章を読み返し，推敲する。</p> <p><b>&lt;第8時&gt;</b></p> <p>1 推敲した文章を清書する。グループごとに互いの意見文を読み合い，根拠の示し方や表現の仕方などについて意見交流を図る。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り，確認する。</p>	
--	--	--	---	--

■ 3 学期

7 世界とつながる（1～2月）

<p>読む 美しさの発見 P142 2時間</p>	<p>[知技](1)ア，ウ，エ，オ [思判表]読むこと(1)ア，イ</p>	<p>・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み，その展開を論理的に捉え，筆者の価値観を理解する。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 取り上げられている具体例に注意しながら，本文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 第一段から「発明」と「発見」に関わる語句や表現を抜き出し，ここでのそれぞれの意味を明らかにする。</p> <p>3 コロンブスやキュリー夫人の「発見」と芭蕉やセザンヌの「発見」の違いを考え，それぞれの意味を明らかにする。（手引き2）</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 少年龍之介を叱った先生が捉えている「美しさ」と少年龍之介が捉えている「美しさ」を読み取る。（手引き3・4）</p> <p>2 「同じ一つの心のはたらき」について考え，「『美しさ』を知る」ために必要なことを話し合う。（言語活動）</p> <p>3 この文章で筆者は，「美しさの発見」とはどのようなものであると述べているか，考えを述べ合う。（手引き5）</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。</li> <li>・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考え</li> </ul>
---------------------------------------	---	---	---	--

				を深めている。 [主] 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。
読む りんごのほっぺ P150 2時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア	・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 四つの部分に書かれている事柄を要約し、出来事の順序に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 「T君」と「私」との関わりや、「私」の「T君」への思いを整理する。(手引き2) 3 「T君」の両親に直面した時、および朗読劇に参加した時の「私」の心情を表現に即して捉え、説明する。(手引き3・4) 4 題名にこめられた筆者の思いについて考えたことをまとめる。(手引き5) <b>&lt;第2時&gt;</b> 5 戦争体験を語り継いでいくことの意義について話し合う。(言語活動)	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主] 粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。
書く 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう P159 7時間	[知技] (1)ウ, オ [思判表] 書くこと(1)エ ④ 書くこと(2)イ	・助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2 「自分の学校」について情報を集めて紹介文を書いた例を参考に、学習の進め方を理解する。 3 「課題」(P164) から一つを選び、紹介する対象を決	[知技] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えた

			<p>める。</p> <p>4 紹介する対象について、集めたい情報を書き出したうえ、情報の収集方法を考える。</p> <p><b>&lt;第2・3時&gt;</b></p> <p>1 資料を調べたり、アンケートを取って結果を集約したりして、情報を収集する。</p> <p>2 集めた情報を取捨選択し、紹介文に使用する情報を選び出す。不足している情報があれば、更に調べて補う。</p> <p><b>&lt;第4・5時&gt;</b></p> <p>1 文章の構成を考え、序論・本論・結論の三段型などで構成メモを作る。</p> <p>2 構成に沿って、紹介文を書く。</p> <p><b>&lt;第6時&gt;</b></p> <p>1 書いた文章を、数人で互いに読み合い、意見交換を行う。その際、「評価表の項目の例」を参考に評価表を作り、良い点や改善点を助言し合うようにする。</p> <p><b>&lt;第7時&gt;</b></p> <p>1 読み手の助言をもとに、文章を推敲し、清書する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p>	<p>り、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に紹介文に必要な情報を収集し、学習の見通しをもって情報を取捨選択し、読み手の助言をもとに、よりよい文章を書こうとしている。</p>
--	--	--	---	---

8 未来に目を向ける (2～3月)

<p>読む 不思議な拍手 P166</p> <p>◆考えよう ……推論の仕方</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, ウ, エ, オ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ</p> <p><b>[知技]</b> (2)ア, ウ <b>[思判表]</b> 読む</p>	<p>・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。</p> <p>・推論の仕方を理解し、日常で使えるよ</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 出来事に即し、筆者はどのように考えを進めているかに注意して、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 カワカベさんの「拍手」について、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取り、まとめる。(手引き2・3)</p> <p>3 この拍手について、筆者が捉えようとしていることを理解する。(手引き4)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中</p>
--	--	--	---	---



<p>P176 2時間</p>	<p>こと(1)ア, イ</p>	<p>うになる。</p>	<p><b>&lt;第2時&gt;</b>  1 推論には「演繹」と「推測」があり, その違いや, 論理的な文章について理解を深める。(考えよう……推論の仕方)  2 推測したことを前提に考えを進めたとき, カワカベさんの「拍手」について, 筆者が新たに感じ, 考えたことを読み取り, まとめる。(手引き5・6)</p>	<p>で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。  ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。  ・推論の仕方を理解し使っている。  <b>[思判表]</b>  ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握している。  ・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めている。  <b>[主]</b> 積極的に場面の様子を捉え, 学習課題に沿って考えの進め方を整理し, 本文中に挙げられている実験から, 筆者が推測していることを理解しようとしている。</p>
<p>話す・聞く 資料を活用して発表しよう P188 5時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)イ, オ  <b>[思判表]</b> 話すこと・聞くこと(1)ウ, エ  (活) 話すこと・聞くこと(2)エ</p>	<p>・発表の仕方や, 話の聞き方を工夫する。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b>  1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持つ。  2 「さまざまな発表の形式」を参考に, さまざまな発表の形式について確認する。  3 「課題」(P192)の中から発表の形式の一つを選ぶ。ただし, 以下では「ポスターセッション」による発表活動を例として取り上げる。  4 グループごとに, 取り上げるテーマを設定する。  <b>&lt;第2・3時&gt;</b>  1 前時に設定したテーマについて, 調べる切り口と内容</p>	<p><b>[知技]</b>  ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割, 表現の特色を踏まえ, 正確さ, 分かりやすさ, 適切さ, 敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し, 使っている。  ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。  <b>[思判表]</b>  ・「話すこと・聞くこと」において, 話し言葉の特徴を踏まえて話したり, 場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど, 相手の理解が得られるよう</p>

			<p>を絞り込み，調査を行う。</p> <p>2 調査内容を模造紙などにまとめ，ポスターを作成する。その際，伝えたいことを明確に表現できるよう，タイトルの付け方や，記事・図表の配置などを工夫する。</p> <p><b>&lt;第4・5時&gt;</b></p> <p>1 「発表の構成例」を参考に，発表時間を5分として，発表する内容と時間配分を考える。</p> <p>2 グループごとに発表を行う。</p> <p>3 発表の後，質疑応答の時間を2分程度設ける。聞き手は，「聞き方のポイント」を参考に，積極的な意見交換ができるようにする。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り，確認する。</p>	<p>に表現を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において，論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み，学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに，他のグループの発表をしっかり聞いて理解を深めようとしている。</p>
--	--	--	---	---

言語文化	単位数	1 単位	学科・学年・学級	機械科 1 年 1 組、自動車科 1 年 2 組、電気科 1 年 3 組・4 組、グラフィックアーツ科 1 年 5 組、服飾デザイン科 1 年 6 組
------	-----	------	----------	---

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編言語文化」(言文 701)
副教材など	「新編言語文化学習課題ノート」(準拠ノート) / 「D マークコンテンツ(教科書)」、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## ◆年間指導計画

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	学習活動	評価規準
■ 1 学期				
現代文編 1 随想(4月)				
読む さくらさくらさくら P10 2 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ, エ [思判表] 読む こと(1)ア, イ	・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	<第 1 時> 1 桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 2 本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。(手引き 1) 3 第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つかを考察	[知技] ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うこ

			<p>する。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。(手引き2・3)</p> <p>2 第三段を音読し、短歌三首の内容と詠まれた心情について考える。(手引き4)</p> <p>3 短歌の内容と心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理する。(手引き5)</p>	<p>とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p><b>[主]</b>進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>〔言語〕「花」といえば「桜」？</p> <p>P16</p> <p>1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)エ</p> <p>④ 読むこと(2)ア</p>	<p>・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。</p>	<p>1 「さくらさくらさくら」(10ページ)に「和歌の世界では、『花』といえば『桜』を指す」という内容が書かれていたことを確認する。</p> <p>2 古典文学において、「山」や「祭」という言葉が、どの「山」や「祭」を指して用いられていたのかを調べる。(課題1)</p> <p>3 「小倉百人一首」から、「花」と詠んで「桜」を歌っている和歌を探す。(課題2)</p> <p>4 「花」が「桜」の意味で用いられている言葉にはどのようなものがあるか調べる。(課題3)</p> <p>5 「桜」についてふだんどのように感じているかまとめ、発表する。(課題4)</p>	<p><b>[知技]</b> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p><b>[思判表]</b> 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p><b>[主]</b>進んで現代の言語文化に息づいている古典の常識について理解し、学習課題に沿って、小倉百人一首から「花」と詠んで「桜」を歌っている和歌を探し、「桜」についてふだんどのように感じているか考え、発表しようとしている。</p>
古文編1 古文入門(5・6月)				
<p>読む</p> <p>古文に親しむ</p> <p>P118</p> <p>1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア／(2)ア、ウ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア</p>	<p>・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。</p>	<p>1 古文と現代文の違いについて確認する。</p> <p>1 古文の代表作品の冒頭を音読する。</p> <p>2 現代とは仮名遣いが違うことを知る。</p> <p>3 暗唱し、古文のリズムや調子を体感する。(手引き1・</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p>

			2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。</p>
<p>読む 児のそら寝 P122</p> <p>●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い P124 2時間</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, ウ, エ/(2)ウ <b>【思判表】</b>読むこと(1)ア</p> <p><b>【知技】</b>(2)ウ, エ <b>【思判表】</b>読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。</li> </ul>	<p>1 本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。(手引き1・古文学習のしるべ1)</p> <p>2 児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。(手引き2・3)</p> <p>3 現代語訳する際の注意点を理解する。(古文学習のしるべ1)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 絵仏師良秀 P130</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, ウ, エ/(2)ウ <b>【思判表】</b>読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。</li> </ul>	<p>1 本文を音読する。</p> <p>2 人々と良秀の言動を読み取る。</p> <p>3 良秀の人物像について考える。(手引き1・2)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら</li> </ul>

<p>■古文の窓1 古典から生まれた近現代の小説を読む</p> <p>●古文学習のしるべ3 用言の活用／係り結び／仮定条件と確定条件 P134 2時間</p>	<p>[知技] (2)ア, カ [思判表] 読むこと(1)エ</p> <p>[知技] (2)ウ, エ [思判表] 読むこと(1)ア</p>		<p>4用言の活用, 係り結び, 仮定条件と確定条件について学習する。(古文学習のしるべ3)</p>	<p>の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>[主] 進んで文語の活用について理解し, 学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。</p>
<p>漢文編1 漢文入門(6・7月)</p>				
<p>読む 訓読の基本 P210 [言語] 漢字の読みと意</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ア, ウ [思判表] 読むこと(1)ア [知技] (1)イ, ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の特色を知り, 訓読のきまりを理解するとともに, 格言に親しむ。</li> <li>漢和辞典の使い方</li> </ul>	<p>1 中学校で学習した故事成語・唐詩・『論語』を発表し, 高校での漢文学習への意識付けを図る。</p> <p>2 「訓読」の導入文を読み, 漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり, その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。</p> <p><b>【訓読】</b></p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うこ</li> </ul>

<p>味—漢和辞典を活用しよう</p> <p>P 218 2 時間</p>	<p>(2)エ 【思判表】㊦読 むこと(1)ア</p>	<p>を知り, 漢字の読みと意味の関係について理解する。</p>	<p>1 基本構造「主語・述語」と句読点・送り仮名・書き下し文について理解する。</p> <p>2 基本構造「修飾語・被修飾語」を理解し, 句読点・送り仮名・書き下し文に慣れる。</p> <p>3 基本構造「述語・目的語(補語)」と返り点について理解し, 書き下した上で現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>4 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造について確認する。(手引き 2)</p> <p><b>【格言】</b></p> <p>1 前半の五つの格言を音読し, 既習の訓点の知識を確認し, 返読文字と一レ点の用法について理解する。(教科書 213 ページ手引き 1・2)</p> <p>2 後半の三つの格言を音読し, 助字, 置き字と上・中・下点の用法について理解し, 書き下し, 現代語訳する。(主な置き字とその用法)</p> <p>3 「訓読」で学習した訓点の知識に加え, 返り点, 返読文字, 置き字について整理した上で書き下し文にする。(教科書 215 ページ手引き 1・2)</p> <p><b>【格言(再読文字)】</b></p> <p>1 「未来」「将来」の熟語から, 再読文字の用法を理解する。</p> <p>2 「再読文字」の格言を, 訓点に従って音読し, 書き下し, 現代語訳して, 各再読文字の用法について確認する。(再読文字・再読文字の種類と用法)</p> <p>3 「学習の手引き 1・2」に取り組み, 再読文字の用法に慣れる。(手引き 1・2)</p>	<p>とを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し, 見通しを持って, 古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</p>
---	-------------------------------------	----------------------------------	---	---

			<p>1 「格言」の八つの格言と、再読文字の七つの格言の中から、それぞれ興味・関心を持った格言を使った例文を作り、話し合う。</p> <p>2 漢文訓読に関する基礎知識について復習する。</p>	
<p>読む          故事成語一三編〔言語〕          P 220</p> <p>■漢文の窓 1          名前の表し方          P 226          3 時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ/(2)イ          【思判表】読むこと(1)ア, エ, オ          ④読むこと(2)イ</p> <p>【知技】(2)ア, ウ          【思判表】読むこと(1)ア</p>	<p>・ 故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。</p>	<p>1 中学校で学習した故事成語を発表し、故事成語とはどのようなものか再確認する。</p> <p><b>【守株】</b></p> <p>1 本文を、書き下し文を参照しながら、訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。(手引き 1)</p> <p>2 書き下し文のきまりを確認する。(手引き 2)</p> <p>3 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。(手引き 3)</p> <p>4 「株を守る」の故事成語としての意味を確認する。(手引き 4)</p> <p><b>【五十歩百歩】</b></p> <p>1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読するとともに、書き下し文のきまりを確認する。</p> <p>2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。(手引き 1・2)</p> <p>3 本文は、どんなことを伝えようとした話なのか、前書きを参考にして意図を理解する。(手引き 3)</p> <p>4 「五十歩百歩」の意味を確認し、「五十歩百歩」を用</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の</li> </ul>



			<p>いた文章表現を行う。(手引き4)</p> <p><b>【借虎威】</b></p> <p>1 本文を訓点に従って正確に読めるようになるまで、繰り返し音読する。</p> <p>2 書き下し文のきまりを確認するとともに、脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。(手引き1・2)</p> <p>3 「虎の威を借る」の意味を確認し、「虎の威を借る」を用いた文章表現を行う。(手引き3)</p> <p>1 辞書(漢和・国語)や国語便覧などを用い、「守株」「五十歩百歩」「借虎威」以外の故事成語に触れ、故事成語に興味を持つとともに、故事成語が日本語において果たす役割について理解する。(手引き4)</p> <p>2 一人の人間について、現代日本の一般とは違い、複数の「名前」があることを理解する。(漢文の窓1)</p>	<p>言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p><b>[主]</b>進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。</p>
--	--	--	---	---

■ 2 学期

現代文編 2 小説 1 (9月)

<p>読む とんかつ</p> <p>P24 4時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, ウ</p>	<p>・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 これまでに読んだ小説の中で、おもしろかったもの、印象に残ったものを挙げ、小説を読む楽しさや意義について話し合う。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 本文を通読し、印象に残った点を話し合う。</p> <p>2 三つに分けられたそれぞれの部分に描かれた出来事</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解して</p>
---------------------------------------	--	--	--	---

			<p>を、登場人物・場面などに注意してまとめる。(手引き1)</p> <p>3 親子の描写を着実に押さえて、二人の性格や境遇について考えられることを箇条書きにし、発表し合う。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 女主人の、客の親子に対する見方の変化を順次まとめる。(手引き2)</p> <p>2 第一段が全体の中で果たす役割を、前時の4と関連させて考える。</p> <p>3 親子の境遇について、母親の「問わず語り」〔三〇・14〕の部分を中心に、簡潔にまとめる。(手引き3)</p> <p>4 「とんかつ」を夕食に出した宿の女主人、それを食べる親子の心情を、それぞれ推測してみる。(手引き4)</p> <p><b>&lt;第4時&gt;</b></p> <p>1 一年足らずの間に、母親は老け、息子は成長している。この変化の表れている箇所について考える。(手引き5)</p> <p>2 女主人の、宿を再訪した母親と少年に対する通り一遍でない思いやりが、それぞれに対して表れている言動を押さえる。</p> <p>3 題名を考慮に入れて、この小説の主題をまとめる。(手引き6)</p> <p>4 作者とその文学について学ぶ。</p>	<p>いる。</p> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。</p>
古文編2 随筆 (10・11月)				
読む 徒然草〔言語〕	【知技】(1)ア, ウ, エ/(2)ウ	・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基	1 『徒然草』と作者について、必要な知識を得る。 <b>【亀山殿の御池に】</b>	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあ

<p>P 138</p> <p>■ 古文の窓 2 兼好法師，こんな一面も</p> <p>P 143 5 時間</p>	<p>[思判表] 読むこと(1)ア，イ，オ ㊦ 読むこと(2)イ</p> <p>[知技] (2)ア，イ [思判表] 読むこと(1)エ</p>	<p>に的確に捉える。</p>	<p>1 全文を音読し，あらすじを読み取る。</p> <p>2 「大井の土民」と「宇治の里人」との，水車造りの能力を比較してまとめる。(手引き 1)</p> <p>3 主題を考えさせる。(手引き 2)</p> <p><b>【奥山に，猫山といふものありて】</b></p> <p>1 全文を音読し，あらすじを読み取る。</p> <p>2 「猫また」に関する二つのうわさの内容の違いを考える。また，どのような法師であるかを理解する。(手引き 1)</p> <p>3 「猫また」に襲われた法師の行動を捉え，その心理を想像する。(手引き 2)</p> <p>4 最後の一文を解釈し，その効果を考える。(手引き 3)</p> <p><b>【雪のおもしろう降りたりし朝】</b></p> <p>1 全文を音読し，主語を確認しながらあらすじを読み取る。</p> <p>2 相手が「返事」に書いてきた内容を読解する。(手引き 1)</p> <p>3 作者の感慨を読み取る。(手引き 2)</p> <p>4 「亡き人」の人物像について，話し合う。(手引き 3)</p> <p><b>【今日はそのことをなさんと思へど】</b></p> <p>1 話のあらすじを読み取る。</p> <p>2 本文の主旨を理解する。(手引き 1・2)</p> <p>3 作者の処世観について，まとめる。(手引き 3)</p> <p>1 四つの教材について，作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか，考える。</p>	<p>ることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>
--	--	-----------------	---	--

			2『徒然草』や作者について、知識を深める。	
漢文編2 漢詩(11・12月)				
読む 絶句と律詩一七首 〔言語〕  P228 4時間	<p>【知技】(1)ア, ウ,エ/(2)ア, イ,ウ</p> <p>【思判表】読む こと(1)ア,イ, ウ</p> <p>㊦読むこと(2) イ,ウ</p>		<p>【鹿柴】【春晓】【春晓】</p> <p>1それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓2)</p> <p>2それぞれの詩を音読し、書き下す。</p> <p>3展開に注意して現代語訳し、「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き1)</p> <p>4「自然をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き2)</p> <p>5孟浩然と幸田露伴の「春晓」(229ページ)を読み比べて、類似点や相違点を考える。(言語活動)</p> <p>【黄鶴楼送孟浩然之広陵】【贈汪倫】</p> <p>1それぞれの詩の詩形と押韻を確認する。(手引き3・漢文の窓2)</p> <p>2それぞれの詩を音読し、書き下す。</p> <p>3展開に注意して現代語訳し、「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き1)</p> <p>4「友情をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き2)</p> <p>【涼州詞】【春望】</p> <p>1それぞれの詩の詩形と押韻および対句を確認する。</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p>【主】進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p>

			<p>(手引き 3・漢文の窓 2)</p> <p>2 それぞれの詩を音読し、書き下す。</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「人生をうたう」という章立てを意識しつつ、うたわれている状況を考える。(手引き 1)</p> <p>4 「人生をうたう」という章立てを意識しつつ、それぞれのどのような心情がうたわれているかを考える。(手引き 2)</p> <p>5 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。(手引き 4)</p>	
<p>読む 〈漢詩と日本文学〉 P 234 1 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/(2)ア, イ [思判表] 読む こと(1)エ</p>	<p>・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。</p>	<p>1 漢文を踏まえた日本文学について、概略を理解する。</p> <p>2 「香炉峰下、…」と「雪のいと高う降りたるを」を音読し、内容を捉える。</p> <p>3 「雪のいと高う降りたるを」が、どのように漢詩を踏まえているか考える。</p> <p>4 「雪のいと高う降りたるを」が漢詩を踏まえていることの意味や効果について考える。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul> <p>[思判表] 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>[主] 進んで作品の歴史的・文化的背景や他の作品との関係を理解し、学習課題に沿って、漢文が日本文学に与えた影響について考えようとしている。</p>

現代文編 4 小説 2 (11月)				
読む 羅生門〔言語〕  P72 3時間	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ, エ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, オ</p> <p>㊦ 読むこと(2)イ</p>	<p>・ 極限状態にある登場人物の心情の変化を, 場面の展開に即して読み取り, 主題を考える。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 全文を通読し, 時代背景を確かめる。(手引き1)</p> <p>2 場面の变化に注意して, 本文全体を四つの意味段落に分ける。</p> <p>3 第一段を読み, 「下人」の内面の状態をまとめる。(手引き3-1)</p> <p>4 「作者」の説明に従って, 「下人」の行動を順を追って整理する。</p> <p>5 「下人」の内面の変化を順を追って整理する。(手引き2)</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 第二段を読み, 「下人」の目が捉えた「羅生門」の楼上の情景を整理する。</p> <p>2 「下人」と「老婆」について, 比喩で表現した箇所を抜き出し, 比喩の効果について考え, まとめる。</p> <p>3 第三段, 第四段を読み, 「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。</p> <p>4 「なるほどな, ……大目に見てくれるである。」に述べられた「老婆」の主張について考え, それを聞いた「下人」が「引剥ぎ」をしようと思った理由を考える。(手引き4・言語活動1)</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 「下人」の内面の変化を, 変化のきっかけと関連づけながら, 整理する。(手引き2・3-2・4)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>[主] 進んで本文の構成や場面の展開, 表現の特色を捉え, 学習課題に沿って, 登場人物の心情の変化を読み取り, 主題について考えようとしている。</p>

			<p>2 「黒洞々たる夜」という表現に留意して、「老婆」のその後について考える。</p> <p>3 「下人の行方は、誰も知らない。」という終わりを踏まえて、「下人」がこの後、どうなったのかを想像し、話し合う。(手引き5)</p> <p>4 小説の主題について、自分なりに考えて発表する。</p> <p>5 「老婆」の主張についてどのように考えるか、賛成、反対の立場に分かれて討論する。(言語活動1)</p> <p>6 「下人」と「老婆」の会話を、それぞれの人物になったつもりで、役割読みする。(言語活動2)</p>	
<p>読む 〔言語〕元になった古典作品と読み比べよう P88 2時間</p>	<p>【知技】(1)ア 【思判表】読むこと(1)エ, オ ④読むこと(2)ウ</p>	<p>・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 古典作品を元に書かれた作品について理解する。</p> <p>2 原作(89ページ)の本文のA～Dについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。</p> <p>3 2をもとに原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 原作の波線ア～エについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88ページの(1)～(3)のいずれに該当するか考える。(課題1)</p> <p>2 1で検討した中から、重要だと思うものを選び、「羅生門」の創作性にとってどのような意味を持つか、自分の考えをまとめ、話し合う。(課題2)</p> <p>3 原作の後半部分(92ページ)の波線オ～ケについて、</p>	<p>【知技】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主】進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。</p>

			「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの (1) ~ (3) のいずれに該当するか考える。(課題 3)	
古文編 4 物語 (2・3月)				
<p>読む 枕草子〔言語〕 P 146</p> <p>■ 古文の窓 3 『源氏物語』に触れる P 148</p> <p>● 古文学習のしるべ 4 助動詞 助詞 P 150 5 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ/ (2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア, イ, オ 書くこと (2) ア</p> <p>[知技] (2)ア, カ [思判表] 読む こと(1)エ</p> <p>[知技] (2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>・ 作品の内容を自分 と関係づけながら, ものの見方, 感じ 方, 考え方を深め る。</p>	<p>1 平安時代の女流文学および随筆文学について知る。</p> <p><b>【うつくしきもの】</b></p> <p>1 本文を通読し, 何を「うつくし」として取り上げているのか, 整理する。(手引き 1)</p> <p>2 『枕草子』の内容の三分類について知り, この章段が類聚的章段に当たることを理解する。</p> <p>3 同じ日本語でも時代が変わると意味も変化してくることを, 「うつくし」をはじめとする古今異義語を通して理解する。</p> <p>4 「うつくしきもの」を参考にしながら現代版「○○もの」を書く。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・ 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・ 古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</li> <li>・ 「読むこと」において, 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ, 内容の解釈を深めている。</li> <li>・ 「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul>



				<p>・「書くこと」において、作品の構成を踏まえながら、自分の設定したテーマに沿って文章を書くことができる。</p> <p>[主] 進んで自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深め, 学習課題に沿って, 「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え, 古今意義語について考えようとしている。</p>
--	--	--	--	--

# 令和5年度「高等学校 標準文学国語」(2学年) シラバス

科目	文学国語	単位	1	学年	2	全学科 (7クラス)
使用教科書	高等学校 標準文学国語(第一学習社)					

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとめている。

章	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文学国語」の目標や履修等の仕組みを理解する。</li> <li>一年後の自分に宛てた手紙を書き、新学期の決意を再確認する。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 学習課題の提出
7	ナイン (井上ひさし) 文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察する。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。</li> <li>文学的文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。</li> <li>小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の主張、テーマに関することについて調べ、考察している。</li> <li>自分の意見を論理的な文章としてまとめる。</li> <li>正しい原稿用紙の使い方を再確認する。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 話し合い 調査とまとめ 課題の提出
1	読書案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>良書の案内を受け、好きな本について他者と紹介し合い、様々な図書に触れ、自ら読書活動に取り組み姿勢を養う。</li> <li>読んだ本の内容を読書レポート等にまとめる。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 話し合い 調査とまとめ 課題の提出
10	山月記 (中島敦) 文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶと</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提

職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>もに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。</li> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> <li>典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	沖縄の文学	<ul style="list-style-type: none"> <li>組踊り鑑賞前の事前学習を行う。</li> <li>郷土の文化、芸能に関する基本的な知識を身につける。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 課題の提出 リフレクション シート
2	生命は（吉野弘）	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
	そこにひとつの席が（黒田三郎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
	食事（高階紀一）	<ul style="list-style-type: none"> <li>比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
6	デューク（江國香織） 文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出

職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a b c			評価方法
			a	b	c	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。</li> <li>主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○	○	○	定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	死んだ男の残したものは (谷川俊太郎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
	春—イラクの少女シャミラに (柴田三吉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対比的に配置された詩の構造を理解し、新たな時代の戦争を描いた表現上の工夫を読み取る。</li> <li>内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。</li> <li>文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。</li> <li>文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解を深める。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	一年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「一年後の自分へ宛てた手紙」を返却し、年度初めの目標が達成されたかを振り返る。</li> <li>一年間を振り返り、学習への取り組み、自分自身の成長と次年度へ向けた課題を考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 課題への記入

言語文化	1 単位	学科・学年・学級	機械科 2 年 1・2 組、自動車科 2 年 3 組、電気科 2 年 4・5 組、グラフィックアーティスト科 2 年 6 組、服飾デザイン科 2 年 7 組
------	------	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。			
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編言語文化」(言文 701)
副教材など	「新編言語文化学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「よくわかる新選古典文法」 / 「新選古典文法ノート」 / 「新徹底理解高校漢文」 / 「新徹底理解高校漢文ワーク」 / 古語辞典 / その他、D マークコンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## ◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期 現代文編 1 随筆(4月)				
「美しい」ということ P18 1 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ, エ [思判表] 読むこと(1)ア, オ	・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。	1 「美しい」と感じた経験や、「美しい」という言葉に対するイメージなどを発表する。 2 「美しい」とはどのようなものか考えながら、本文を通読する。(手引き 1) 3 第一段を読み、筆者の中の「美しい」という感覚について考える。(手引き 2)	[知技] ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら

<p>読む 雨漏りの音〔言語〕 P 36</p> <p>■小説の読み方 P 45 2 時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ, ウ, エ 【思判表】読むこと(1)ア, オ ④読むこと(2)イ 【知技】(2)カ 【思判表】読むこと(1)イ, ウ</p>	<p>・登場人物の心の動きを読み取り, 人間関係の在り方について考える。</p>	<p>4 第二段を読み, 筆者が器を作ったり文章を書いたりする際に, どのような経験をし, どのように感じているか捉える。(手引き 3)</p> <p>5 第三段～第五段を読み, 筆者は, 物語がどのようなように生まれると考えているか, また, 物語と「美しい」との関係をどのように捉えているか考える。(手引き 4)</p>	<p>の文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のもので見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【主】進んで筆者の経験と分析について理解し, 学習課題に沿って「美しい」ということについて考えようとしている。</p>
			<p>&lt;第 1 時&gt;</p> <p>1 時間の経過に注意しながら, 本文を通読する。(手引き 1)</p> <p>2 一つ目の物件の雨漏りに対する茜と晴人の反応の違いを押さえ, その理由を考える。(手引き 2)</p> <p>3 一つ目の物件を見て, 二人が同じ感想を持った理由を考える。(手引き 3)</p> <p>&lt;第 2 時&gt;</p> <p>1 二つ目の物件に向かう車内で, 茜が雨漏りの音について思い出した内容と, 思い出した理由を捉える。</p> <p>2 「いつの間にか」という表現の効果について考える。(手引き 4)</p> <p>3 二つ目の物件で茜が抱いた気持ちについて考える。(手引き 5)</p>	<p>【知技】</p> <p>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読み慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの</p>

	4 「なんの役割もない生身の生き物みたいな目をした。」 について、このとき茜がどのようなことを感じたのか 話し合う。(言語活動)			<p>の見方,感じ方,考え方を捉え,内容を解釈している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において,文章の構成や展開,表現の仕方,表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において,作品の内容や解釈を踏まえ,自分のものの見方,感じ方,考え方を深め,我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>[主] 進んで本文の内容や構成,展開を的確に捉え,学習課題に沿って,登場人物の心の動きを読み取り,人間関係の在り方について考えようとしている。</p>
古文編2 随筆 (5・6月)				
読む 枕草子 [言語] P146	[知技] (1)ア, ウ,エ/(2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア,イ, オ	・作品の内容を自分 と関係づけながら, ものの見方,感じ 方,考え方を深め る。	□平安時代の女流文学および随筆文学について知る。  <b>【うつくしきもの】</b> 1 本文を通読し,何を「うつくし」として取り上げているのか,整理する。(手引き1) 2 『枕草子』の内容の三分類について知り,この章段が類聚的章段に当たたることを理解する。 3 現代版「○○もの」を書く。(言語活動)	<b>[知技]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には,文化の継承,発展,創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し,それらの文化的背景について理解を深め,文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は,文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために,古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり,古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <b>[思判表]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において,作品や文章に表れているものの見方,感じ方,考え方を捉え,内容を解釈している。</li> </ul>
■ 古文の窓3 『源氏物語』に触れる P148	[知技] (2)ア,カ [思判表] 読む こと(1)エ		□同じ日本語でも時代が変わると意味も変化してくることを,「うつくし」をはじめとする古今異義語を通して理解する。 □「古文の窓3『源氏物語』に触れる」を読み,知識を得る。(古文の窓3) □「古文学習のしるべ4 助動詞・助詞」を学習する。(古文学習のしるべ4)	
● 古文学習のしるべ4 助動詞 助詞 P150 1 時間	[知技] (2)ウ [思判表] 読む こと(1)ア			

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>【主】進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。</p>
<p>漢文編3 論語 (6. 7月)</p> <p>読む 論語一八章 P 238 4時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ/(2)イ 【思判表】読むこと(1)ア, イ</p> <p>・孔子の学問・人間政治に対する考え方を知り, 孔子の思想に興味を持つとともに, ものの見方や考え方を豊かにする。</p>	<p>□教科書の注釈や巻末付録「中国文学史年表」などを参考にして、『論語』の成立と伝播, 孔子の生きた時代背景, 孔子の略歴を, ノートにまとめる。</p> <p><b>【学ぶということ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を繰り返し読み直し音読し, 書き下し文にする。</li> <li>2 脚注を参照して正確に現代語訳し, 内容を理解する。</li> <li>3 孔子の学問観について考える。(手引き1)</li> <li>4 『論語』を典拠とした成語について調べる。(手引き2)</li> </ol> <p><b>【人間を見つめる】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を繰り返し読み直し音読し, 書き下し文にする。</li> <li>2 脚注を参照して正確に現代語訳し, 内容を理解する。</li> <li>3 孔子や弟子の人間観について考え, 「忠」「信」「巧言令色」や「仁」についても調べる。(手引き1・2)</li> </ol> <p><b>【政治を考える】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を繰り返し読み直し音読し, 書き下し文にする。</li> </ol>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は, 文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために, 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。</li> </ul> <p>【主】進んで『論語』に表れているものの見方や考え方について理解し, 学習課題に沿って, 自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。</p>



			2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 孔子の理想とする政治について考える。(手引き 1) □孔子の思想を、学問観・人間観・政治観の三つに分けてノートにまとめる。 □「漢文の窓 3 孔子と弟子たち」(教科書二四六ページ)を読んで、孔子と弟子たちとの人間的な触れ合いを理解する。(漢文の窓 3) * <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。
--	--	--	--

■ 2 学期

現代文編 3 詩歌 (9月)

読む 柳あをめる【短歌】 P 50	【知技】(1)ア, ウ 【思判表】読む こと(1)ア, ウ	・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。	1 短歌とはどのようなものか、どのような短歌を知っているかを発表する。 2 掲載された短歌を音読し、歌のリズムを味わう。(手引き 1) 3 それぞれの歌について、読解・鑑賞をして話し合う。(手引き 2・3) 4 掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで、感想文を書く。(手引き 4)	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの
■短歌の読み方 P 53 1 時間	【知技】(2)カ 【思判表】読む こと(1)イ, ウ			

<p>読む 雪の深さを【俳句】 P 54</p>	<p>[知技](1)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ</p>	<p>・俳句独自の特徴と表現効果を理解し, 想像力を働かせて句の主題を読み取る。</p>	<p>の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価している。 [主] 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し, 学習課題に沿って, それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。</p>
<p>■俳句の読み方 P 57 1 時間</p>	<p>[知技] (2)カ [思判表] 読む こと(1)イ, ウ</p>	<p>1 五・七・五の定型・季語・切れ(切れ字)・取り合わせなど俳句の基礎知識, 概念を確認し, 知っている俳句・俳人などを発表し合うことで, 俳句に対して興味を持つ。 2 掲載された俳句を音読し, リズムを味わう。(手引き 1) 3 それぞれの句について, 読解・鑑賞をして話し合う。(手引き 2・3) 4 掲載された俳句の中から印象に残った一句を選んで, 感想文を書く。(手引き 4)</p>	<p>[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価している。 [主] 進んで俳句の特徴や表現効果を理解し, 学習課題に沿って, それぞれの句の主題を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 冬が来た P 58 1 時間</p>	<p>[知技](1)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ</p>	<p>・比喩とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい, 作者のものの感じ方について考える。</p>	<p>[知技] ・言葉には, 文化の継承, 発展, 創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し, それらの文化的背景について理解を深め, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>

			<p>の思いを考える。(手引き3)</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>【主】</b>進んで表現の効果を理解して詩を読み味わい、学習課題に沿って、作者のものの感じ方について考えようとしている。</p>
古文編4 物語 (10・11月)				
<p>読む 伊勢物語 P170 2時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, ウ, エ/(2)ウ <b>【思判表】</b> 読む こと(1)ア, イ, ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	<p>□作品についての教師の解説を聞き、その概略を理解する。(古文の窓4)</p> <p><b>【芥川】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を通読した後、『伊勢物語絵巻』(模本)と見比べて対応関係を知る。(手引き1)</li> <li>2 本文の記述から「女」の人物像を理解する。(手引き2)</li> <li>3 和歌を中心に、「男」の心情の推移を読み取る。(手引き3)</li> </ol> <p><b>【筒井筒】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を音読した後、三つの場面に分けて、各場面の大意をノートにまとめる。(手引き1・古文の窓4)</li> <li>2 「筒井筒…」「くらべこし…」の歌に込められたそれぞれの心情を想像する。</li> <li>3 本文を精読し、筒井筒の女、高安の女の人物像を比較する。(手引き2)</li> <li>4 古今異義語の用法を確認する。</li> </ol>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきままりや訓読のきままり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p><b>【主】</b>進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確</p>

<p>読む 〔言語〕和歌を自分の 言葉で書き換える P176</p>	<p>〔知技〕(2)ア 〔思判表〕読む こと(1)イ, ウ, オ ④読むこと(2) エ</p>	<p>・和歌を書き換える ことを通して, 解釈 を深める。</p>	<p>に捉えようとしている。</p>
		<p>1 平安時代の貴族にとって, 和歌は重要なコミュニケーションツールであったことを確認する。 2 一七六ページ上段を参考に, 「筒井筒…」 「くらべこし…」の歌のメッセージの核心をまとめろ。(課題1) 3 2を踏まえて, 現代のコミュニケーションツールで伝え合うことを想定し, それぞれの歌を自分の言葉で書き換える。(課題2) 4 書き換えた作品を互いに読み合い, 元の和歌と比較しながら, 表現の工夫について批評し合う。(課題3)</p>	<p>〔知技〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔思判表〕 ・「読むこと」において, 作品や文章に表れているもの の見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の仕 方, 表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において, 作品の内容や解釈を踏まえ, 自分のもの見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の 言語文化について自分の考えをもっている。 〔主〕進んでコミュニケーションツールとしての和歌の 役割について理解し, 学習課題に沿って, 和歌を書き 換えようとしている。</p>

<p>読む 〔言語〕『伊勢物語』と 絵画・工芸 P 177</p>	<p>〔知技〕(1)ア 〔思判表〕読む こと(1)ア, オ</p>	<p>・古典を元にした絵 画・工芸を通して、 文章の内容を捉え 直す。</p>	<p>1 『伊勢物語』が後世に与えた影響の一つに、絵画・工 芸があることを確認する。 2 一七七ページの①～③の絵画や工芸品が、「筒井簡」 の本文のどの部分を取り上げたものか考える。(課題 1) 3 ①～③と「筒井簡」の本文を比較して、気づいたこと を話し合う。(課題2) <input type="checkbox"/> 『伊勢物語』が、文学や芸能などの世界で、どのよう な影響を及ぼしたか調べ、発表する。 <input type="checkbox"/> 「歌物語」と呼ばれる『伊勢物語』における本文と和 歌との関係や役割について考える。 <input type="checkbox"/> 「古文の窓4」を読み、当時の恋愛や結婚について理 解する。(古文の窓4) * <input checked="" type="checkbox"/> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用 意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文 化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な 文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などに ついて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容 や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えてい る。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や 他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めて いる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、 自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の 言語文化について自分の考えをもっている。 【主】進んで古典を元にした絵画・工芸について理解し、 学習課題に沿って、文章の内容を捉え直そうとしてい る。</p>
<p>読む ■ 古文の窓4 恋愛と結婚 P 178 1 時間</p>	<p>〔知技〕(2)イ, ウ 〔思判表〕読む こと(1)エ</p>	<p>・話の展開や登場人 物の言動を読み取 り、史話のおもしろ さを味わう。</p>	<p>□ これまで読んで読んだ中国古典の史話の中でおもしろか ったもの、印象に残ったものを発表する。 【曹公戦於白馬】 1 通読し、全文を現代語訳する。(手引き1) 2 時間の経過と各時間帯の状況をとらえる。(手引き2) 3 荀攸の作戦がどのようなものだったか、順を追って整 理し、まとめる。(手引き2)</p>	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解して いる。</p>
<p>読む 史話一三編 P 248 3 時間</p>	<p>〔知技〕(1)ア, ウ, エ/②イ 〔思判表〕読む こと(1)ア, イ</p>	<p>・話の展開や登場人 物の言動を読み取 り、史話のおもしろ さを味わう。</p>	<p>□ これまで読んで読んだ中国古典の史話の中でおもしろか ったもの、印象に残ったものを発表する。 【曹公戦於白馬】 1 通読し、全文を現代語訳する。(手引き1) 2 時間の経過と各時間帯の状況をとらえる。(手引き2) 3 荀攸の作戦がどのようなものだったか、順を追って整 理し、まとめる。(手引き2)</p>	<p>【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあ ることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それら の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解して いる。</p>

			<p><b>【曹公以関羽為義】</b></p> <p>1 通読し，全文を現代語訳する。(手引き 1・2)</p> <p>2 登場人物の性格や当時の状況について考える。</p> <p>3 曹操が側近に対して「勿追也」と言った理由を，「曹公義之」をもとに考え，話し合う。(手引き 3)</p> <p><b>【魏武捉刀】</b></p> <p>1 本文を音読し，再読文字について確認する。</p> <p>2 話の展開に従って前半・後半の二つの段落に分ける。</p> <p>3 本文を書き下し文にし，現代語訳する。</p> <p>4 「帝自捉刀立牀頭。」という行動から，どのような意図が読み取れるか考える。(手引き 1)</p> <p>5 魏武が匈奴の使者を殺させた理由について考える。(手引き 2)</p>	<p><b>【思判表】</b></p> <p>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。</p> <p><b>【主】</b> 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り，学習課題に沿って，史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>
<p>■ 3 学期</p>				
<p>現代文編 5 小説 3 (1月)</p>				
<p>読む 夢十夜 P94</p> <p>■ 現代文の窓 小説へのいざない P104 3時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア，イ，ウ，エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア，ウ</p> <p><b>【知技】</b> (1)ア／(2)ア <b>【思判表】</b> 読むこと(1)イ，エ</p>	<p>・表現に即して小説を丁寧に読み味わい，そこに展開する独自の世界を味わう。</p>	<p><b>&lt;第1時&gt;</b></p> <p>1 夢の中の世界であることが分かる表現を押さえながら，本文全体を通読する。(手引き 1・4)</p> <p>2 「第一夜」について，死ぬまでの「女」の様子と，「自分」に対する「女」の要望とを順を追ってまとめる。(手引き 2)</p> <p>3 「女」の死後の場面から，「女」に対する「自分」の心情について理解する。</p> <p><b>&lt;第2時&gt;</b></p> <p>1 「真っ白な百合」の様子や「暁の星」から，「百合」が意味しているものを考える。(手引き 3)</p> <p>2 「第六夜」を，前半と後半に分け，場所・時代・登場</p>	<p><b>【知技】</b></p> <p>・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p><b>【思判表】</b></p> <p>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容</p>

		<p>人物・出来事を整理する。(手引き 5)</p> <p>3 「運慶」が仁王を彫っているときの特徴的な様子について読み取る。</p> <p><b>&lt;第3時&gt;</b></p> <p>1 彫刻に対する「若い男」の考えについて理解する。(手引き 6)</p> <p>2 「自分」が「仁王」を彫れない理由について、「明治」という時代に着目して考える。(手引き 7)</p> <p>3 明治以降の文学の流れや特徴などについて、理解を深める。(現代文の窓)</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>[主]進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。</p>
<p>古文編 5 紀行 (2・3月)</p> <p>読む 奥の細道 P 190 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ / (2)ア, ウ</p> <p>[思判表] 読む こと (1)ア, イ, ウ, エ</p>	<p>・構成に注目しながら、作品にこめられた思いを読み取る。</p> <p><b>【旅立ち】</b></p> <p>1 全文を通読し、概略を読み取る。</p> <p>2 旅立ちの様子とその時の心情を読み取る。(手引き 1)</p> <p>3 「行く春や…」の句を解釈し、作者の心情を読み取る。(手引き 2)</p> <p><b>【平泉】</b></p> <p>1 書かれている場所を意識しながら全文を通読し、概略を読み取る。</p> <p>2 作者は、どのようなものが滅び、どのようなものが残っているかと述べているか、整理する。(手引き 1)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p>

<p>書く 〔言語〕文学碑を調べる P196 1時間</p>	<p>〔知技〕(1)ア 〔思判表〕書く こと(1)ア</p>	<p>3 中国の故事「黄梁一炊の夢」と、杜甫「春望」の内容を確認する。 4 高館で作者が「涙を落とす」理由を考える。 5 「夏草や…」 「卯の花に…」の句を解釈し、曽良の句を置くことにより、どのような効果があるかを考える。(手引き2) 6 「五月雨の…」の句に表現された作者の感動を読み取る。(手引き2) 7 自然と人為について作者はどう考えているのかをまとめる。(手引き3) <input type="checkbox"/> 『奥の細道』の文学史的立場について理解する。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものを見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めている。 〔主〕進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取るようとしている。</p>
	<p>・地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 自分の住んでいる地域に関わる文学作品や作家について知っていることを発表し合う。 1 教科書に掲載された例を参考にしつつ、「文学碑」の概略を理解する。 2 自分の住む地域にはどのような文学碑があるのか確認する。(課題1) 3 自分が興味を持った文学碑について調べ、[ワークシート例]を参考にして整理する。(課題2) 4 3を基に、自分の住む地域と文学との関わりについて、考えたことや気づいたことをまとめる。 <input type="checkbox"/> 地域にとっても文学碑はどのような役割や意味を持っているのか、各文学碑の建立の経緯から考察し話し合う。</p>	<p>〔知技〕言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 〔思判表〕「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 〔主〕進んで文学碑について理解し、学習課題に沿って、地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理しようとしている。</p>



## 令和5年度 「現代文B」(3学年) シラバス

『新編現代文B』Ⅱ部	<b>単位数</b>	2単位	<b>学科・学年・学級</b>	全科・3学年
------------	------------	-----	-----------------	--------

### 1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

### 2 使用教科書など

<b>使用教科書</b>	東京書籍「新編現代文B」(現 B321)
<b>副教材</b>	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他、指導用 DVD-ROM 収載の補助資料など ※「4 学習計画、及び評価規準など」の「備考」欄では、「新編現代文B学習課題ノート」の扱いについては省略している。

### 3 評価の観点、及び内容、方法

評価の 観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
<b>評価の 内容</b>	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
<b>評価の 方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度)</li> <li>・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察(学習活動における発言内容や態度)</li> <li>・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート・感想文などの作成した文章)</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察(学習活動における発言内容や態度)</li> <li>・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察(学習活動における発言内容)</li> <li>・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> <li>・定期考査</li> </ul>

#### 4 学習計画、及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項（主として該当するもの）」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号（ア、イ、ウ、エ、オ）を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力（または「知識・理解」）の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

1 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連／2 図書館やICTの活用など／3 副教材の使用など

学期	月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例	備考
						【話】-話す・聞く／【書】-書く／【読】-読む／【知】-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)	
1	5	1	オリエンテーション	自分への手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文の目標や履修等の仕組みを理解する。</li> <li>一年後の自分に手紙を書き、決意を再確認する。</li> </ul>	【書】 進級した気持ちや目標を手紙文として書いている。〈記述の確認〉 ーエ	
		4	<b>1 読書と人生</b> ▼読書に関する文章を読んで、読書が生きていくうえで果たす役割について理解しよう。	楽に働くこと、 楽しく働くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>働くことにおける意識の持ち方の違いを理解する。(手引き2)</li> <li>筆者の労働に関する考えを理解する。(手引き2)</li> </ul>	【読】 実際に旋盤工として働いていた筆者の体験をもとにした労働に関する考えを理解している。 <行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ 【知】 日本の職人が培ってきた技術と精神を理解している。〈行動の観察／定期考査>ーオ	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。また、評論文重要語・現代用語なども調べ、語彙の範囲を広げる。
		3	▼自ら進んでさまざまな書物を読み、視野を広げ、考えを深めていこう。	情景のなかの労働	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕事」と「稼ぎ」の違いを理解する。(手引き2)</li> <li>筆者の言う『「仕事」の世界が作り出した景色の美しさ』を理解する。(手引き2)</li> </ul>	【読】 「仕事」が意味するものと「稼ぎ」が意味するものの違いを理解している。また、筆者を感動させた景色の背景にあるものを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査> ーイ 【知】 「枝打ち」「背負子」などの日常耳にしない語	

						の意味を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ	
5	3		鉄, 千年のいのち ■読書案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解する。(手引き2)</li> <li>・和釘づくりが歴史への参加だと言う筆者の考えを理解する。(手引き2)</li> </ul>	<p>[読] 和釘に込めた筆者の思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ －イ</p> <p>[知] 「錬鉄」「溶解鉄」などの語の意味を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ</p>		
5 6	8	2 小説1 ▼時代背景や虚構性に注意して小説を読んで、そこに描かれた世界を的確に捉えよう。 ▼小説を読んで感じたこと考えたことを仲間と伝え合うことで理解を深めていく態度を養おう。	鞆 ◆小説の楽しみ④ …不条理と文学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1)</li> <li>・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2)</li> <li>・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3)</li> <li>・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5)</li> </ul> <p>【言語】 この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>[読] セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ －イ・ウ</p> <p>[書] この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。＜記述の確認＞ －イ</p> <p>[知] 現代小説の超現実主義の作品を理解している。また、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方も理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ</p>	「新総合図説国語」を利用して戦後日本の超現実主義を代表する作家である作者のことを調べる。また彼の世界における評価もインターネット等で調べる。	

	7	4	<b>言語活動</b>	意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を論理的な文章としてまとめる。</li> <li>・良書の案内を受け、好きな本について他者と紹介しあい、様々な図書に触れる。</li> </ul>	<p>[書] 自分の主張，テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。＜記述の確認＞ ーイ</p> <p>[話] 自分の好きな図書や紹介された図書についての感想を発信している。＜行動の観察＞ーア</p> <p>[書] 自分の主張，テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。＜記述の確認＞ ーイ</p>	
		3		読書案内			
2	8	3	<b>3 詩歌</b>	竹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復法や脚韻を使ったこの詩独特の響きの持つ効果を理解する。(手引き1)</li> <li>・第一連「地下」と第二連「地上」という、違う情景の表現を理解する。(手引き2)</li> <li>・作者が竹に込めた思いを理解する。(手引き3)</li> <li>・萩原朔太郎の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、朔太郎の他の詩も読んでみる。</li> </ul>	<p>[読] 第一連，第二連の情景を正確に理解している。また，作者が竹の姿に込めている思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ ーイ・ウ</p> <p>[知] 反復法，脚韻といった詩の修辞技巧や言葉の使い方を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ ーオ</p>	
	9	4		永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この詩において東北方言をそのまま使った効果を理解する。(手引き1)</li> <li>・この詩に詠まれた情景の展開を理解する。(手引き2)</li> </ul>	<p>[話] この詩のテーマと方言を使うなどの表現方法について，自分の考えを的確にまとめて，正確に発信している。＜行動の観察＞ ーア</p>	「新総合図説国語」を利用して，作者のことを調べ



10 11	10	<b>4 小説 2</b>  ▼小説を読んで、場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取ろう。  ▼小説に描かれた人物の思考や行動をとおして、人間のあり方、生き方についての考えを深めよう。	<p>こころ</p> <p>◆言葉の扉②…漢字の解字</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開と「私」とKの関係を理解する。(手引き2)</li> <li>・「私」がKに対して抱いている畏れ、Kを出し抜いた状況、Kに対して放った言葉を中心にして、「私」の心理変化を理解する。(手引き3, 4)</li> <li>・Kが「私」にお嬢さんへの恋心を相談した気持ちを考え、Kの心理と人間性を理解する。(手引き5)</li> <li>・Kが自殺した時に「私」が取った行動を読み取り、この時の「私」の心理を理解する。</li> </ul> <p>【言語】物語の流れの中から、登場人物の心理描写に着目して、登場人物の心理変化を読み取り、それを説明する表現の仕方を理解する。</p>	<p>【話】「私」とKの会話や行動から、二人の心理を的確に捉えて、それを正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉 ーア</p> <p>【書】この小説から読み取ったことをもとにして、自分の感想を文章にまとめることができる。〈記述の確認〉 ーア</p> <p>【読】「私」とKの関係、物語の展開とそれぞれの心理と人間性を的確に読み取り、「私」の取った行動の真理を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉 ーイ・ウ</p> <p>【知】明治時代の風俗を示す語句の意味や用法を的確に理解すると同時に、小説における比喻や象徴的かつ暗示的な表現も理解している。〈行動の観察／定期考査〉 ーオ</p>	「新総合図説国語」を利用して、筆者や本文中に登場する文学作品を調べる。
12	7	<b>5 評論 1</b>  ▼語句の意味や表現上の特色に注意しながら評論を読んで、筆者の主張を的確に捉えよう。  ▼自然・環境や、社会の問題に対する理解を深め、進んでさまざまな	<p>モードの論理</p> <p>◆考える楽しみ④</p> <p>…困難な時代に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モード」について着る側の論理と売る側の論理を理解する。(手引き2)</li> <li>・人間が自分の身体をどう捉えているかを理解する。(手引き3)</li> <li>・モードに関する過去の思想家の言葉を筆者がどのように自分の意見の論証に使っているかを理解する。(手引き4)</li> <li>・「モードの論理」を読み取ると同時に、最後の「時間が耐えられないほどに『軽く』感じ</li> </ul>	<p>【話】ファッションやモードについて、調べたり、考えたりした内容を的確にまとめ、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉 ーア</p> <p>【書】ファッションについて調査したこと、考えたことを的確に文章にまとめている。〈記述の確認〉 ーイ</p> <p>【読】筆者の言う、ファッションが売る側の論理で作られているということ、モードとは結局は絶</p>	

			問題について考える。		られるようになるわけです。」と言う筆者の考えを理解する。(手引き5) <b>【言語】</b> 自分自身がファッションやモードに関して調べたこと、考えたことを文章にまとめて発表する。	えず自己否定を続けるものであるということを正確に読み取り、その内容を理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査>-イ <b>【知】</b> 「セルフ・イメージ」, 「センシビリティー」, 「アイロニカル」などの難解な用語の意味を的確に理解している。<行動の観察/定期考査> -オ	
3	1 2	7	<b>6 俳句</b>  ▼比喻などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わおう。  ▼さまざまな詩歌に接して多様な表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにしよう。	春雷	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの俳句の季語を確認し、その俳句に詠まれている季節を理解する。(手引き1)</li> <li>それぞれの俳句に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の心情や感動を理解する。また、それをもとにして俳句の鑑賞文を書く。(手引き2, 3)</li> <li>体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。</li> <li>それぞれの俳人の文学史における位置を理解する。</li> </ul>	<b>【読】</b> それぞれの俳句に詠まれた情景や作者の思いを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査> -イ・ウ  <b>【書】</b> 俳句に詠まれた情景や作者の心情・感動を正確に理解して、鑑賞文を書いている。<記述の確認> -エ  <b>【知】</b> 俳句における季語、切れ字などの修辞技巧を理解している。また、村上鬼城、尾崎放哉、杉田久女、加藤楸邨、水原秋桜子といった俳人の文学史における位置を理解している。<行動の観察/定期考査> -オ	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。
			2	3	<b>一年を振り返って</b>	自分への手紙 反省文	
	2	6	<b>就職に向けて</b>	一般教養	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職するにあたって、一般的な教養程度の語句の学習をする。</li> </ul>	<b>【書】</b> 自分の成長や反省点をまとめることができている。<記述の確認>  -エ	

## 令和5年度「国語表現」シラバス

沖縄県立那覇工業高等学校 全日制

教科名	国語	指導学年	3学年	対象学科	全学科(選択)
科目	国語表現	単位数	2単位 (70時間)	使用教科書	大修館書店『国語表現』
補助教材	担当教員が配布するプリント				
科目の目標	○国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ○思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ○すすんで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
学習の方法	○年度初めに国語表現についてのガイダンスを行います。 (教科の目標、授業内容、シラバス(教科の目標、授業内容、シラバスの活用方法、評価の仕方など) ○毎時間の授業では、初めに学習のねらいを示しますので、教科書(補助教材)を参考に積極的に学習する。 ○授業は適宜、課題や小テストを実施して、学習内容の徹底をはかります。 ○基本課題をこなした生徒には応用課題を課します。				
評価の方法	①関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。			学習の準備 学習の状況
	②話す・聞く能力	自分の考えをまとめて深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする			発表の内容 ワークシート
	③書く能力	自分の考えをまとめて深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に表す。			課題、提出物、レポート、 ワークシート
	④知識・理解	表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。			小テスト
その他	随時、学習のサポートを行いますので、理解のむずかしいところ、つまづいている所は早めの解決しましょう。				

### 授業計画(どのような内容を、どのように学ぶのか)

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
				A (話すこと・聞く)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
一 学 期	5 月	1 書いて伝える	整った文を書く	8		・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト	
			わかりやすい文を書く			・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト	
			文のつながり方			・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト	
			原稿用紙の使い方			・原稿用紙の正しい使い方を理解する。	○		◎		◎	・ワークシート	
	6 月	2 自己PRと面接	自分を見つめて	2		・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○			・観察 ・相互評価、 自己評価	
			効果的な自己PR	1	2	・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎			・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、 自己評価	
			将来の自分を考えよう	1	2	・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価	
			志望動機をまとめよう	1	3	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、 自己評価	



7月	3	会話・議論・発表	相手や場面に応じた会話	2			・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価	
	4	自己PRと面接	面接にチャレンジ	2			・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方をする。	○	◎			○	・観察 ・相互評価、 自己評価	
8月	5	メディアを駆使する	電話を使いこなす	1			・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価 ・小テスト	
9月			新聞の読み方			3	・新聞の読み方を理解する。 ・見出しやリード文をもとに記事の核心にせまる(要約、主題抽出)。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
			興味のある記事を読み込む			3	・新聞の面構成を把握するとともに、興味・関心を抱いた記事を探し、要約・主題抽出をおこなう。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
10月	6	しんぶん感想文	発想を広げて書く			6	・記事の主題と自分の意見の区別を意識しつつ文章構成をおこなう。 ・原稿用紙の使い方に則り文章を書く。 ・推敲を通して自ら文章をよりよいものにしていく方法を獲得する。	○		◎	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
			発表会			2	・それぞれが取りくんだ記事と感想文をセットにして、発表する。 ・相互評価を通して、望ましい発表のありかたや、文章を通した思考の深まりを味わい合う。	○	◎			◎	・観察 ・相互評価表 ・自己評価表	
	7	メディアを駆使する	通信文を書き分ける			4	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
二学期	8	聞いて意見を発信する	演説合戦にチャレンジ			3	・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価	
			こちら悩みごと相談室			2	1	・悩みごと相談に対する回答を、相手の立場を想像して適切に書く。 ・さまざまな立場の人物になりきって、その視点にふさわしい回答を書く。	○		◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価
			9	詩歌を読む	詩歌を楽しむ			3	2	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・一つ作品を選び、群読をおこなう。	○	○	◎	◎
12、1、2月	10	卒業をひかえて	思い出を書く			2	14	・これまでの人生を振り返り、家族との関わりを確かめる(作文「人生で最も思い出深い朝食」) 学校生活を振り返り、具体的に自分との関係を描く。(作文「私の好きなもの」、作文「私の好きな場所(校内)」) ・発表会を通し、仲間の文章を味わい、理解しあう。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価
			韻文をつくる					・卒業を前に、詩・俳句・短歌をつくり、発表する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価
三学期						22	40	8						